

滋賀県公安委員会定例会議会議録

第1 日時

令和8年6月18日（木）午後1時30分～午後3時36分

第2 出席者

1 公安委員会

北村委員長、上田委員、高橋委員

2 県警察

池内本部長、荒谷警務部長、山口生活安全部長、船越刑事部長、井上交通部長、坂梨警備部長、古川首席監察官、筒居警察学校長、竹本通信庶務課長（森川情報通信部長代理）

第3 議事の概要

1 協議事項

なし

2 報告事項

(1) 警察官採用試験の受験資格の見直しについて

荒谷警務部長から、警察官採用試験の受験資格の見直しについて報告があった。その際、上田委員から「時代の流れに即した採用活動の見直しであるので、大いに推進されたい。」、高橋委員から「早い段階から学生に仕事を知ってもらうことで、関心も高まると思う。」、北村委員長から「早い段階から就職活動の選択肢が増えるので、学生の進路設計にとっても良いことだと思う。」旨の発言があった。

(2) 情報処理能力検定を昇任試験の加点要素に追加することについて

荒谷警務部長から、情報処理能力検定を昇任試験の加点要素に追加することについて報告があった。その際、上田委員から「この取組みが、警察業務の質の底上げに繋がると同時に、職場の魅力向上にも繋がるため、大いに推進されたい。」、高橋委員から「加点要素が新たに加わることで、職員のやりがいも出てくると思うので、引き続き、加点要素を増やすことも、推進されたい。」、北村委員長から「民間でもさまざまな検定を昇格試験の加点要素にしているので、今後も更に広げていけるよう、推進されたい。」旨の発言があった。

(3) 令和8年5月末の犯罪情勢について

山口生活安全部長から、令和8年5月末の犯罪情勢について報告があった。その際、上田委員から「特殊詐欺の被害金額が23億円超と、金額の大きさに驚いているが、検挙件数を増加させているということは、犯罪取締りの地道な努力の成果だと感じている。」、高橋委員から「犯罪

に対する分析や、予防に向けた啓発を、引き続き、推進されたい。」、北村委員長から「各種の啓発活動が、県民一人一人に伝わるよう、引き続き、推進されたい。」旨の発言があった。

(4) 出水期に備えた災害対応について

坂梨警備部長から、出水期に備えた災害対応について報告があった。その際、上田委員から「様々な事案を教訓にして災害対策を進めているので、関係機関とも協力しながら、引き続き、推進されたい。」、高橋委員から「行政等とも連携して、引き続き、災害に関する訓練や対策を推進されたい。」、北村委員長から「消防、自衛隊、行政等との連携した災害対策が非常に重要なので、引き続き、対応能力の向上を進められたい。」旨の発言があった。

第4 個別報告・決裁関係

1 報告事項

警察活動の課題等について

刑事企画課から、警察活動の課題等について報告があった。

2 決裁関係

(1) 運転免許行政処分について

運転免許課から、運転免許取消処分対象事案等について、事案の内容並びに意見聴取及び聴聞の結果の報告を受け、協議の結果、9件について行政処分を決定した。

(2) 信号機の設置について

交通規制課から、信号機の設置について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

(3) 小型無人機等の飛行に関する通報受理について

警備課から、小型無人機等の飛行に関する通報受理27件について書面報告があり、これを了承した。

(以上)